

2022

マイクロツルダリング技術賞制度

表彰式

JWES

## 《優秀マイクロソルダリング品質判定技術賞》

2016年度より設置しました『優秀マイクロソルダリング品質判定技術賞』では、判定能力試験の受験者の中から、優秀な成績を収めたと認められた方々に対し、表彰を行なっています。当該賞は資格取得だけでなく、受験者本人が意識して自己の技能を高めて頂けるよう設置、表彰しています。

### 【優秀マイクロソルダリング品質判定技術賞 受賞者】

2022年3月1日から2023年2月28日の受験者（213名）の採点結果のうち、表彰基準点内の優秀な成績を収めた者を対象としています。

本年度は、表彰基準を満たした2名の方に、『優秀マイクロソルダリング品質判定技術賞』を授与致します。今回の受賞者は、下表の通りです。

(氏名順、敬称略)

氏名	所属名
中野超雄	株式会社 エネゲート
見附有理	株式会社 ニコン

### 【参考1】判定能力試験 概要

判定能力試験は、JIS Z 3851に基づき作成された、挿入実装、表面実装および端子実装の3種目のサンプルを10倍顕微鏡を使って目視検査し、不良名称と位置を検出する実技を伴う試験となります。

### 【参考2】判定能力試験 2022年3月1日から2023年2月28日（受験者数）

区分	対象者
受験者数（受験件数）	※ 213名
受賞者数（受賞件数）	2名

※ 各資格取得時および更新時に実施された判定能力試験の受験者総数

## 《マイクロソルダリング技術賞》

2006年度より設置しました『マイクロソルダリング技術賞』では、上級実技試験および実技試験の受験者の中から、優秀な試験材を作成したと認められた方々に対し、表彰を行なっています。今回は、2022年3月1日から2023年2月28日までの受験者（828名）が対象となっており、資格取得だけでなく、受験者本人が意識して自己の技能を高めて頂けるよう設置、表彰しています。

### 【優秀マイクロソルダリング技術賞 受賞者】

上級実技試験および実技試験の試験材のうち、ぬれ、ソルダ量、加熱状態、洗浄、成形の5項目について、明らかな良品且つソルダ量が均一であると認められた試験材 1種目 を作成した者に、『優秀マイクロソルダリング技術賞』を授与致します。今回の受賞者は、下表の通りです。

(種目・氏名順、敬称略)

氏名	所属名	表彰種目
渡邊 璃乃	セレスティカ・ジャパン株式会社	挿入
堀越 敬子	株式会社 キャンドックスシステムズ	表面
横田 智光	旭光電機株式会社	表面
赤池 隆寛	三和エレクトロニクス株式会社	端子
吉田 真紀子	株式会社 小森マシナリー	端子

### 【参考1】試験種目

試験種目は、挿入実装、表面実装、端子実装の3種目を用意しており、各社の状況に合わせた種目を選択し、受験頂いています。

### 【参考2】上級実技試験および実技試験

2022年3月1日～2023年2月28日の受験者数（受験件数）

区分	対象者	挿入実装	表面実装	端子実装
受験者数（受験件数）	828名	652件	587件	542件
受賞者数（受賞件数）	5名	1件	2件	2件

※本年度は『最優秀マイクロソルダリング技術賞（2種目以上表彰対象）』の該当はございませんでした

# 《マイクロソルダリング技術 マイスター》

2014年度より設置しました『マイクロソルダリング技術 マイスター』では、マイクロソルダリング技術賞制度において、過去に最優秀賞、優秀賞 又は 判定技術賞\*を受賞した者が、再度、最優秀賞、優秀賞 又は 判定技術賞\*の受賞者 若しくは 受賞対象となった者に、当該称号を授与しています。

※2023年度より、『マイクロソルダリング技術 マイスター』の表彰要件に、判定技術賞が加えられました。ただし、判定技術賞を表彰要件とする場合には、2つの表彰要件の何れかで、最優秀賞 又は 優秀賞が要件となっている必要があるとしています

## 【マイクロソルダリング技術 マイスター 受賞者】

2006年度より始まったマイクロソルダリング技術賞制度では、現在までに17,000人を超える受験者を選考していますが、当該称号を有している者は1000人に1人以下の割合となっています。

本年度は表彰基準を満たした1名の方に対し、その卓越した技能を讃えて、『マイクロソルダリング技術 マイスター』を授与致します。今回の受賞者は、下表の通りです。

(氏名順、敬称略)

氏名	所属名	受賞歴
深井 雅克	沖電気工業 株式会社	2016年度分 判定技術賞 2021年度分 優秀賞（挿入）

## 【参考】上級実技試験及び実技試験 2005年度～2022年度の受験者数（受験件数）

年度	対象者	挿入実装	表面実装	端子実装
2005年度 受験者数(受験件数)	約1,200名	約920件	約930件	約840件
2006年度 受験者数(受験件数)	約1,200名	約930件	約970件	約720件
2007年度 受験者数(受験件数)	1,323名	1,082件	1,047件	839件
2008年度 受験者数(受験件数)	1,142名	885件	898件	738件
2009年度 受験者数(受験件数)	963名	745件	730件	645件
2010年度 受験者数(受験件数)	991名	781件	736件	619件
2011年度 受験者数(受験件数)	996名	787件	762件	605件
2012年度 受験者数(受験件数)	1,080名	873件	762件	664件
2013年度 受験者数(受験件数)	1,107名	841件	815件	654件
2014年度 受験者数(受験件数)	929名	722件	680件	530件
2015年度 受験者数(受験件数)	989名	753件	722件	628件
2016年度 受験者数(受験件数)	1,004名	761件	715件	594件
2017年度 受験者数(受験件数)	960名	727件	674件	589件
2018年度 受験者数(受験件数)	954名	740件	673件	586件
2019年度 受験者数(受験件数)	957名	723件	638件	558件
2020年度 受験者数(受験件数)	160名	120件	120件	160件
2021年度 受験者数(受験件数)	632名	487件	420件	398件
2022年度 受験者数(受験件数)	828名	652件	587件	542件
<b>受験者数合計</b>	<b>17,415名</b>	<b>13,529件</b>	<b>12,879件</b>	<b>10,909件</b>

※ 2005年度及び2006年度は制度発足当初の為、対象者となる受験者数を受験件数から推定